



令和3年度「視覚障がい者パソコン教室」

「視覚障がい者パソコン教室」が開催中です。8月～10月に掛けて全10回開催されます。CTF松阪のメンバーはそのお手伝いとしてサブ講師を務めます。気軽にご参加ください。なお蔓延防止等重点措置のため8月20日から9月12日までの間講座が中止されます。

CTF松阪懇親会のご案内

先月号にてCTF松阪懇親会のご案内いたしました。今年は伊勢市で「かまぼこ作り体験」と「内宮のお神楽」参列を計画しています。

今のところ、開催予定ですが、コロナ感染の状況によっては中止／延期もあると考えています。



雄翔館（予科練記念館）のこと

現役時代、茨城県土浦市にある支社に五年ほど勤務しました。土浦には、陸上自衛隊駐屯地と武器学校があり、一般見学者への開放もしております。その中に、特攻隊の当時の様子を展示した「雄翔館」（ゆうしょうかん）があり、ここからは、終戦間近に何人もの特攻隊員が飛び立ちました。

ある時、東京からの出張社員が雄翔館を見学したいというので、予約を取って案内しました。館内でふと目に留まったのが、飛立つ直前に特攻隊員が家族に残した次の句でした。

「征（い）きは日の丸 帰りは木箱 共に登ろう九段坂」

甲飛12期

「共に登ろう九段坂」とは、言うまでもなく戦果を挙げて戦死し、靖国神社にお祀りしてもらうことを意味しています。当時の特攻隊員の散りゆく気持ちを表していたのでしょう。

日の丸の旗に送られ、帰ってきた白木の箱の中は、遺品の焼けた紙切れだけというのも。

今でも土浦市の繁華街に、「霞月楼」（かげつろう）という高級料亭がひっそりと佇んでいます。

往時を偲ばせるように天井が高く、何人もの特攻隊員が明日の出撃を前に杯を交わし、一夜を過ごしました。その名残でしょうか。旧市街には、当時の遊郭の雰囲気の色濃く残っています。

毎年終戦記念日が来ると、この雄翔館に展示された数々の遺品とともに、この辞世の句が思い出されます。



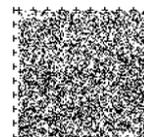
雄翔館



霞月楼

T. O 記

今月号は文字数が多いので、第1、3、4ページに音声コードを2個付けてあります。第1、3、4ページでは、先に左下の音声コードを、次に右下の音声コードを読んでください。



大容量のデータを転送できるサービス



メールで重いファイルを送るときに便利な無料でデータの転送のやり取りができるサービスを紹介します。

★ギガファイル便

<http://gigafile.nu/>

【ファイル保管期間：7～60 日間】

登録不要で容量無制限（1ファイル 200Gまで個数無制限）のファイル転送が行える

★データ便

<https://www.datadeliver.net/>

【ファイル保管期間：1 時間～最大 3 日間】

登録不要で、1 回に 500MB までを送信可能



★おくりん坊

<https://okurin.bitpark.co.jp/index.php>

【ファイル保管期間：7 日間】

登録無しで 500MB、会員登録（無料）で 2GB のファイルが送信可能

★ファイアストレージ

<http://firestorage.jp/>

【ファイル保管期間：1 時間～7 日間】

登録無しで 1 ファイル 2GB までのファイルが無制限で送信可能

★BitSend

<https://bitsend.jp/>

【ファイル保管期間：1～14 日間】

登録無しで 100GB まで無制限で送信可能

※Gmail や Gsuit を利用している場合は Google ドライブもおすすめです。

どのサービスも似たような感じのサービスですが、ご自身で確かめてどのサービスが自分にとって使いやすいのか試してみてください。





活動報告

【8月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(3日、10日、17日、24日)

難病患者さんへの意思伝達支援

(12日、23日)



活動予定

【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

7日、14日、21日、28日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

徒然なるままに

ところで、マグニチュード7とか震度5強というような報道を聞いたことがある筈じゃ。少し難しい話になると思うがこれを理解して地震に対する備えをして欲しいものじゃ。

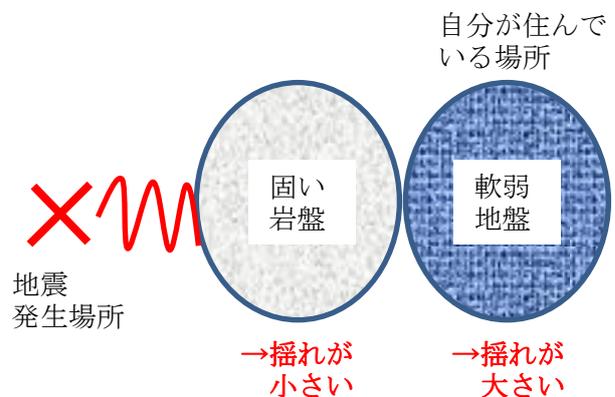
まずマグニチュードじゃが、「地震が地面を揺らすエネルギーの大きさ」じゃ。本来は”エルグ”という単位で数字を表すが余りにも大きな数字になってしまうので、数学のlog という方法を使って表現をしておる。log については中学校で習っておるが皆さん、覚えていないのう。例えば、阪神淡路大震災では”マグニチュード 7.3、1923 年の関東大震災では”マグニチュード 7.9、2011 年の東日本大震災では”マグニチュード 9.0 といわれておる。7.3 より 7.9、それらより 9.0 の方が地震のエネルギーが大きいということは分かるが、どれ位大きいのであろうか？

マグニチュードが”1” 違うとエネルギーが実に”31.6 倍”、”2” 違うとその掛け算になるので”1000 倍” 違うことになるのじゃ。阪神淡路大震災では”マグニチュード 7.3 であつたが理解しやすいように”マグニチュード 7.0” と考えて、東日本大震災の”マグニチュード 9.0” と比べると、東日本大震災の地震エネルギーの方が約 1000 倍大きいということになるのじゃ!!! すごいもの。

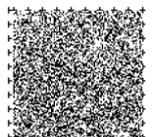
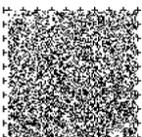
世界中で過去に発生した地震では、1960 年の「チリ地震」でマグニチュード 9.5 というのが最大とのことじゃ。東日本大震災の実に 5 倍以上の地震エネルギーじゃ。

一方、震度というのは全然違う話じゃ。住んでいる場所で体感する”揺れの大きさ” じゃ。これは、①地震の発生源が自分の住んでいる場所からどれくらい離れておるか、②地震発生源がどれくらい深いところか、③自分が住んでいる場所の地面の固さ(固い岩盤か、柔らかい地面か)などによって大きくも小さくもなる。

例えば、①数千 km 離れた場所や②地中 100km という深いところで発生した地震の場合には住んでいる場所ではほとんど揺れない、従って震度は小さい数字となるのじゃ。一方、右図のように地震発生場所と自分の住んでいる場所の間に固い岩盤があつて、住んでいる場所が軟弱な地盤であった場合には、住んでいる場所の震度が大きいということは起こり得る。



【参考文献】Cherish ((株) ペンタス)、気象庁





棟(アフチ)の花

M. K

『妹が見し ^{あふち}棟の花は 散りぬべし わが泣く涙 いまだ^{ひな}干なくに』

山上憶良(万葉集)

(亡き妻が好きだったあふちの花は散ってしまいそうだ。私が悲しんで泣いている涙も、まだ乾いてないというのに)

山上憶良が友の同伴旅人の妻の死を悼んで献上した歌です。

棟は(オウチ)とも(アフチ)とも読み、梅檀(センタン)の花のことです。

この花が5、6月頃に咲くというのを知って、一度見てみたいと、何処かで出会えないかと探していました。

5月の末の夕方、この話をしてあった友達から「梅檀の花を見つけたよ!」とのメール!

そして直ぐにその場に直行!!

いい香り♪薄紫の花弁に濃い紫色の雄しべで、なんて美しく清楚なお花なんでしょう♥

念じれば叶うものですね。

その場所ですか?それがね、よく主人をパソコン教室に送迎していた「幸公民館」だったのです。主人が「ここに咲いてるよ」って教えてくれたのかも?

お花を見たいと思う方、来年の5月末頃に幸公民館の入口へ行って、上を見上げてください。いい香りもしてきますよ♪



編集後記



8月に入り県内においても新規感染者数が急増し、主なコロナ感染指標も軒並み急速に悪化しています。三重県下においても緊急事態宣言が発令される程です。

ワクチンを接種したからといって油断せず、基本の三密の回避、マスクの着用、手洗いの励行、換気の頻繁な実施等を習慣化し感染しないように特に注意しましょう!



CTF 通信第 222 号

2021年(令和3年)9月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 山田 則 男
住 所 〒515-0083
松阪市中町 6-9-1401
電 話 0598-26-6333
U R L <https://ctf-matsusaka.sakura.ne.jp>

